

ロータリー例会卓話

※15分～20分

(冒頭) ※30秒

- ・改めまして皆様こんにちは！会員研修委員会 副委員長の職をお預かりしております磯貝でございます。
- ・本日は多くの先輩方のご参集の中、私のような若輩者が誠に僭越ではございますが、皆様へ向けた研修卓話ということで15分ほどお時間をいただきたいと思います。

(初めに) ※1分

- ・それでは早速始めさせていただきます。
 - ・そもそも私のようなロータリー歴が浅い人間が皆様に対して研修卓話をする事なんてできるはずがありません。
 - ・そこで本日はネット上の公開情報にヒントを得ながら、また入会4年目の私が今現在感じていることを中心に4つのテーマを設けてお話させていただきたいと思います。
 - ・1つ目のテーマは
「ロータリークラブ」というキーワードでネット検索してみた！
 - ・2つ目のテーマは
検索結果の考察から市原ロータリークラブを比較検討してみた！
 - ・3つ目のテーマは
クラブの明るい未来を見据えた会員個々のアクティブな交流とポジティブな思考の必要性！
 - ・4つ目のテーマは
新提案！「温故知新大作戦！」今こそ必要 里親制度！
 - ・以上の4つのテーマでお話しさせていただきたいと思います。
-

(テーマ1) ※4分

- 1つ目のテーマ「ロータリークラブ」というキーワードでネット検索してみた！」でございます。
- 皆様も日頃からお使いになっているヤフーやグーグルなどの検索エンジンを活用して、「ロータリークラブ」という単純なキーワードで検索をしてみた所、「退会理由」「くだらない」「気持ち悪い」「金持ち」「会費高い」「宗教団体」「悪しき実態」といったネガティブなイメージの検索ワードが60%ほど出てきました。
- 逆に「新入会員向け書籍」「ライオンズクラブ比較」「わかりやすく説明」「入会資格」「留学制度」「メリット」といったロータリークラブを知ろうとした方々が検索したと思われる、わりとポジティブな検索ワードが40%ほどであることがわかりました。
- ポジティブなイメージの検索ワード40%の大まかな内容はイメージできるので今回はいったん置いとくことにして、私が非常に気になってしまったネガティブイメージな検索ワードの60%をひとつひとつクリックして奥深くへネットサーフィンしていくと、あることがわかりました。
- それは、ネガティブな書き込みをしている殆どの方が入会歴が浅いであろう方々である事、もしくは年齢が40歳前後で家業を継いで間もない2代目か3代目と思われる比較的若手の方々だということです。
- また、そのネガティブな書き込みに対して反論意見やデータを示しているホワイトナイト役をなさっている方々はロータリークラブに数十年在籍しているであろう方々や現時点でクラブや地区協議会などで役職を担っているであろう方々であると推察することができました。
- これってどうゆうことなんだろう？と、私なりに考察してみました。ネガティブキャンペーンを展開している方々の大半はロータリークラブの運動・活動をあまり理解しないままに目的意識なく入会してしまった方々ではないか？また、入会後の人間関係の構築が上

手くできずに寂しい思いをしていたのではないか？めんどくささが先に立ってしまい、クラブの役職から逃げてしまったり、事業や運動に殆ど参加しなかったのではないか？などなど、少し思案すればいくらでも問題提起ができました。

- ・逆にホワイトナイト的書き込みをされている方々はロータリー歴が長く経験豊富であり、ロータリークラブに所属してきたことでメリットを多く感じ、きっと人生をより豊かなものにしてくれた要因の一つがロータリークラブであると実感している方々であると勝手ながらに推察させていただきました。
- ・このギャップを少しでも埋めることができれば多くの益や幸せを感じられるクラブになるのになーと感じた次第であります。

(テーマ2) ※4分

- ・ここで次のテーマに移ります。テーマ2は「検索結果の考察から市原ロータリークラブを比較検討してみた！」でございます。
- ・テーマ1から導き出した私の勝手ながらの考察より、市原ロータリークラブを重ね合わせて考えてみました。
- ・今回は歴の長い古参会員の思考と入会歴の浅い若手会員の思考との対比で考えてみました。あくまでも私が感じ得た考察でありますのでご理解くださいます様お願いいたします。

◎先ずは古参会員の皆様の思いです。

・今の若手はロータリークラブの運動・活動・趣旨の理解度が低いよね

もっとロータリークラブを根本から勉強してほしいな

- ・もっと積極的に例会や事業に参加して自己研鑽や人脈の拡大につなげてほしいな
- ・自ら役職を受けてもらい、立派なロータリアンへと成長し、未来のクラブを背負って立つ人間になってほしいな

- ・積極的に出向して、各地クラブの会員との交流を重ね、当クラブやご自身の未来に役立ててほしいな
- ・クラブの活動も仕事もプライベートも、もっと甘えてくれていいんだけどな
- ・実は俺たちも若い奴らとワイワイ楽しくやりたいんだよな（笑い）
- ・などなど、考えればもっとたくさん出てくると思います。

◎次は入会歴の浅い若手会員の思いです。

- ・そもそもロータリークラブって何？どんな事業やどんな運動を展開してるの？趣旨がいまいちよくわからないんだよね
- ・入会へ向けた勧誘は強く来るけど、入会後はなんか寂しいよね
- ・古参会員の皆さんと上手くコミュニケーション取れないんだよな
- ・ゴルフや飲み会、委員会に参加したいんだけど恥ずかしくて行けない
- ・実は古参会員の皆さんともっとお近づきになりたいんだよね、甘えてみたいんだよね（笑い）
- ・などなど、こちらも考えればもっと出てくると思います。
- ・以上、古参会員、若手会員双方の思考をかなりおおざっぱではありますが、私なりに考えてみました。頭脳明晰である皆様ですので、もうすでにお気づきの事とは思いますが、双方の思考ってかなり近いものがあると思うんです。
- ・このように改めて考えたり整理することによって以外に簡単に解決や向上に繋がるヒントを得ることができるんだと思います。

（テーマ3）※3分

- ・さあ、いよいよ核心に迫ってまいります。

テーマ3の「クラブの明るい未来を見据えた会員個々のアクティブな交流とポジティブな思考の必要性！」に移ります。

- ・テーマ2で導き出した1つの答えが「古参会員の思いと若手会員の思いはかなり近いものがある」ということでありました。
- ・じゃあ互いの思いを1つにすることで超素敵なクラブになるのではないか？会員数だけではなく結束力や真の実力を兼ね備えた地域最強クラブを作る事ができるんじゃないのか？って勝手に妄想してみました。
- ・じゃあどのようにすれば互いに歩み寄りこれまで以上に会員個々が相思相愛で親密な関係を築くことができるのか？ここでは古参会員の皆様へのお願いと若手会員の皆様へのお願い事として考えてみました。

◎まずは古参会員の皆様へのお願いでございます

- ・先輩方から見た若手会員は様々な面で粗削りでもったいないとお感じのほうであります。
- ・そして本当はもっと近しい距離感で様々な面で若手のサポートをしてあげてたいと感じておられる方が多いと思います。
- ・しかし、生きてきた時代背景の違いから生まれる価値観の違いに苦しむことが多く、なかなか声をかけられない現状があると思います。
- ・また、学びたいのであれば若手から願い出ればよいとの思いもお持ちのほうであります。
- ・では一つだけお願いでございます。ロータリークラブの後輩にだけはそれをやめていただきたいんです。寛大なお気持ちで3段ある階段ならば1段だけおりて迎えていただけないでしょうか？
- ・そうすれば必ず若手は残り2段の階段を駆け上がってくると思います。心よりお願い申し上げます。新たな若い衆との交流が生まれる

ことで、更なる幸せが生まれると確信をしております。

◎続いて若手会員の皆様へのお願いでございます

- ・若手会員の皆様に於かれましては、先輩方の思いと相通じる部分が多くあると思います。でもなかなか自分から飛び込む勇気を持つことができず、ついつい遠慮しがちな今日この頃ではないでしょうか？
- ・でもこんなにも近い距離に多くの成功を納められている地元の名士た
る先輩諸氏が同じクラブ内に大勢おられるわけです。甘えられる環境が目の前にあるわけです。このまま見過ごすなんてもったいないじゃないですか。
- ・そこで若手会員の皆様をお願いでございます。
- ・謙虚な気持ちで先輩方に甘えるという若手の特権を市原ロータリー
クラブ内だけは恥や遠慮なんて捨ててしまい、残り2段の階段を駆け上がっていただきたいのです。
- ・その先には大いなる自己成長と大いなるビジネスの発展が待っている
と確信をしております。若手の皆様の人生がより豊かなものになると確信をしております。
- ・このように互いが理解しあい、より良きクラブ状況を創出するというポジティブな思考のもとに、これまで以上によりアクティブな交流を実践することで市原ロータリークラブはより輝きを増していく
と思います。

(テーマ4) ※2分

- ・最後のテーマでございます。もうすぐ終わりますので今しばらくお
つきあいください。
- ・最後、4つ目のテーマ、新提案！「温故知新大作戦！」今こそ必要

里親制度！でございます。

- これまでの話を踏まえてのご提案になるのですが、次年度60周年という歴史深き我が市原ロータリークラブにはその運動・活動を深く理解をし、ご自身で作りに上げてきた経験豊富な先輩方が多く在籍されております。
- そこで入会してから1～2年程度の期間、新入会員1名に対して2名程度の古参会員による里親制度を採用し、ロータリークラブのいろはをはじめ、仕事やプライベートを含む様々な局面における専属アドバイザーを務めていただくというご提案です。
- 特段決まった事を教示するのではなく、年に何回か食事に行ったり、飲みに行ったり、ゴルフに行ったり、旅行に行ったり、月に何度か若手が遊びに行ったり、電話してみたりといった事からはじめてみるのはいかがでしょうか？
- そんな環境の中で自然とロータリークラブについて学ぶことができますし、その他諸々の相談ができたりしていくと思うんです。
- 先輩方に於かれましては我が子を抱きしめるがごとくの気持ちで、若手は古き良きを学ぶ温故知新の精神で、互いをリスペクトする精神をもって親子のような関係を築くことができれば幸いです。
- 次年度の山崎会長・角谷幹事に於かれましてはこの提案を是非とも理事会の場にてご検討くださいます様お願い申し上げます。

(最後に) ※30秒

- 結びとなりますが、今回の話は皆様一様に一度は考えたことがある内容であったと思います。しかし、なかなか皆で考える時間を持つことができなかつたことも事実であります。
- 皆様は地域社会における能動的市民のリーダーたる各社の代表者であります。そんな皆様が少しでも気を向けていただくだけで大いな

る良き変革をもたらすことができると確信を持っております。

- ・ 創立60周年を目の前に控えた今こそ、急速に会員が増加した今だからこそその相互理解と若手会員の育成が必要であることを少しでも皆様の胸の内に響かせることができたなら幸いです。
- ・ 最後に、私の下手な話にお付き合い頂きました事に感謝申し上げますと共に当クラブがより輝きを増します事を深くご祈念申し上げ、私の卓話を終わらせていただきます。ありがとうございました。